

# 東京の林業

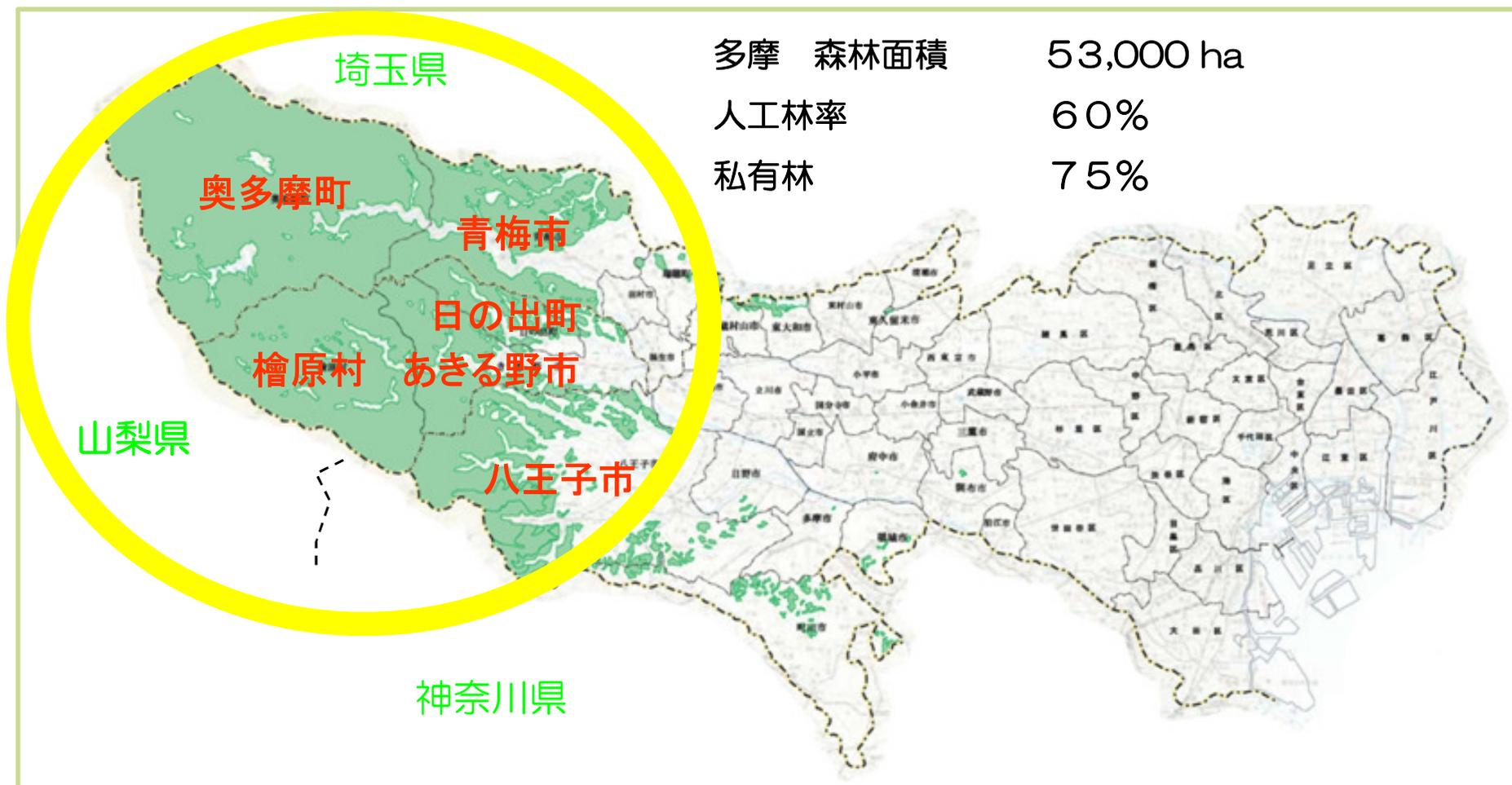


山崎 靖代

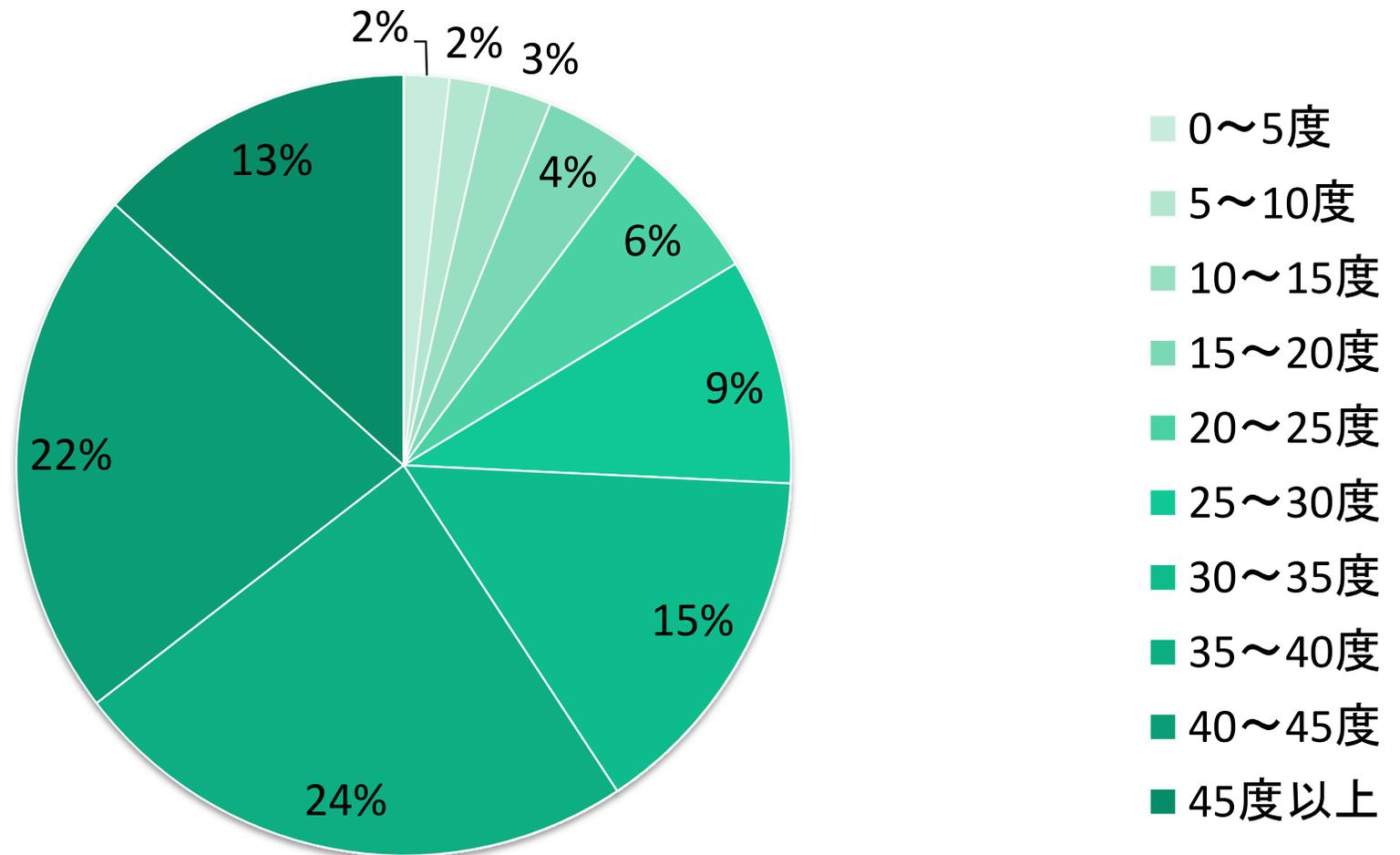
# 東京の森林



# 東京の森林



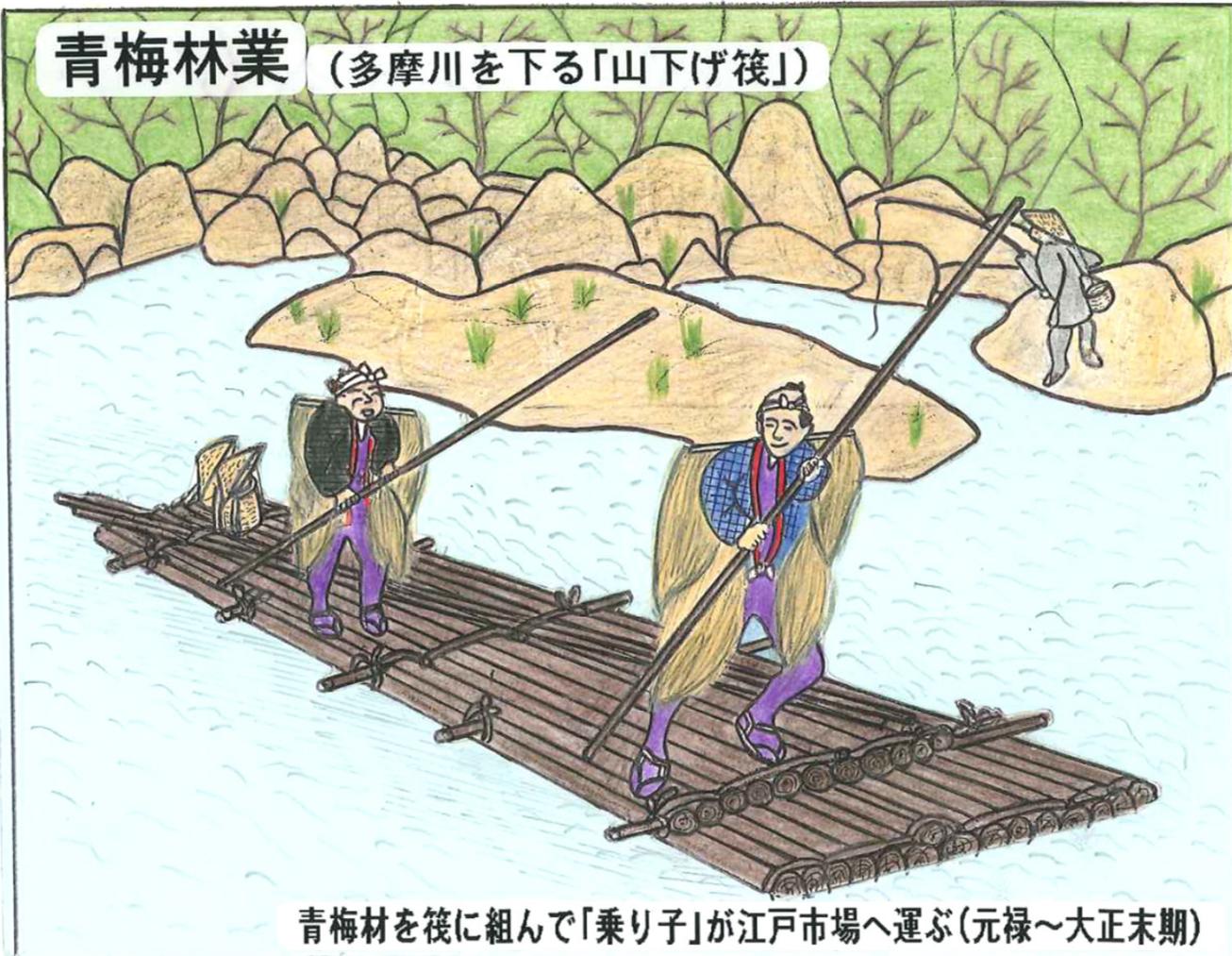
# 林地への傾斜



# 青梅林業のはじまり

- 多摩川、秋川、平井川の水運による地域
- はじまりは1590年
- 徳川家康の江戸開府による城や街の整備
- 明暦の大火などの火災復興
- 1660年代頃から計画的な杉の人口植栽

青梅林業 (多摩川を下る「山下げ筏」)



青梅材を筏に組んで「乗り子」が江戸市場へ運ぶ(元禄～大正末期)

# 東京都の取り組み

## I 森林循環促進事業（花粉対策事業）

- 杉林の伐採と花粉の少ない杉等への  
植え替え
- 基盤整備と多摩産材の需要拡大
- 花粉の少ない森づくり運動

# 東京都の取り組み

## Ⅱ 低コスト林業技術の確立事業

- 東京型低コスト林業技術の实地検証
- 列状間伐の実施

# 東京都の取り組み

## Ⅲ 木材の需要拡大

- 多摩産材の利用拡大
- 東京の地域材と他県産木材の利用促進
- 木育活動の推進

# 東京都の取り組み

## IV 森林再生事業(環境局)

- 荒廃の進んでいる杉・ひのきの人工林
- 都が直接間伐を行う
- 針広混交林化をめざし、公益的機能を回復させる

# 東京都の取り組み

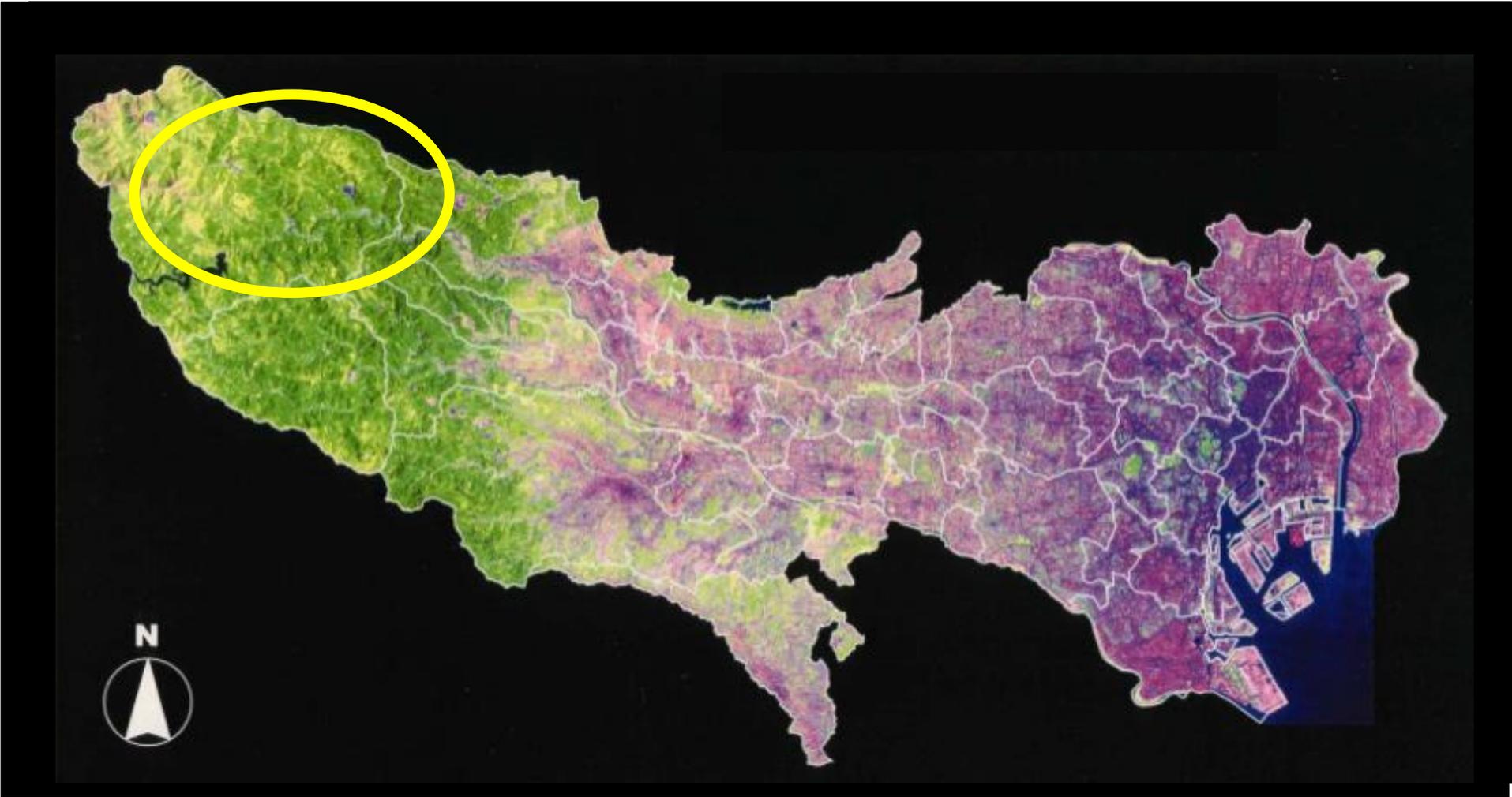
## V 東京都農林水産振興財団

- ・ とうきょう林業サポート隊の運営
- ・ 多摩産材情報センターの運営
- ・ にぎわい施設で目立つ多摩産材  
推進事業

# 我家の現状

- 林業は400年前から
- 370haで28林班
- 都市近郊林のデメリット





# 取り組み

## I 600mの作業道

- 森林循環促進事業の利用



# 取り組み

## Ⅱ 都市住民とのつながり

- ・ 企業の森
- ・ 都市住民の森林へのふれあい



# 現在

- 切捨て間伐と保育
- 搬出間伐
- 皆伐をしていない

# 現在



# これから

- 資源として  
消費者の利用まで考える
- 都市住民のフィールドとして  
森林全体の利用

江戸時代のように  
都市のために森林を活かす

資料の引用：  
東京都産業労働局  
「東京の森林・林業 平成30年版」